

区議会 情報...

区議会決算特別委員会がはじまります(9/25初日 7日間)

要支援で訪問介護利用者が減少… 必要な介護は保障されているか検証を

荒川区における介護予防・日常生活総合事業について

	2014年4月			2017年3月		
	対象数	訪問介護	通所介護	対象数	訪問介護	通所介護
要支援1	1,053人	608人 (29.08%)	648人 (30.04%)	1,372人	451人 (16.19%)	858人 (30.81%)
要支援2	1,041人			1,221人		
サービス事業対象者	-			211人		
合計	2,094人			2,784人		

※2015年5月から介護予防・日常生活総合事業へ正式移行。サービス事業対象者は、要介護認定以外で介護予防が必要とされた人。

区議会がはじまり代表質問で、介護から子どもの貧困対策など多岐にわたる区政全般をたどりました。今回は、要支援など軽度者への予防介護サービスの現状と今後の課題の部分を「紹介」します。

昨年成立の「介護保険法等の改正」は、地域包括ケアシステムの深化・推進として自立支援、重度化防止を推進、その実績報告や成果に基づく財政的インセンティブを打ち出し、介護給付削減を狙ったものです。政府も

横山幸次

日本共産党荒川区議会議員団

区政報告
ニュース

No. 670

2017年9月24日

発行 日本共産党区議団

TEL 3802-4627

fax 3806-9246

メール arajcp@tcn-cat

v. ne. jp

★町屋相談室

荒川区町屋5-3-5

TEL 3895-0504

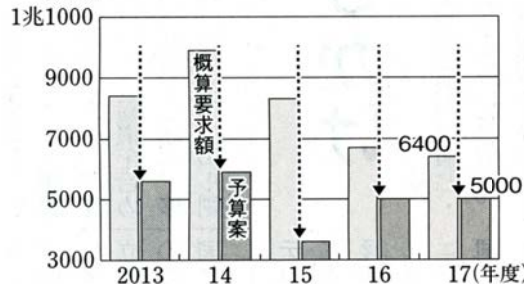
メール yoko1951@aol.jp

横山幸次区議のホームページ・ブログ・ツイッターをご覧ください。横山幸次で検索して下さい。

社会保障「自然増」は連続削減 消費税増税分はどこに…?

安倍政権は、「社会保障の財源」といって消費税8%への引き上げ。しかし高齢者などの増加による社会保障自然増分を第2次安倍政権発足後の13年以降、毎年5000億円規模の削減。その矛先は、年金の削減や医療介護の給付抑制など高齢者に向けられています。「社会保障のため」といって消費税増税を強行しながら、社会保障切り捨てる、まさに「国家的詐欺」に等しいやり方です。

安倍政権による社会保障「自然増」の削減(億円)



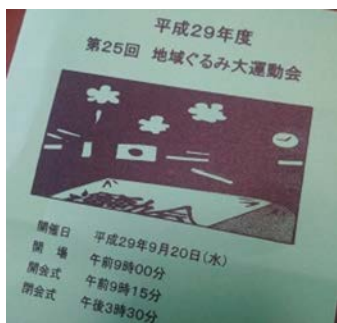
この会議では、本人の意思や主治医の意見を確認する仕組みも不十分であり、介護保険からの

「卒業」推進の場になっていないでしょうか。今回、区のデータで実態に迫ってみました。ここでは、要支援1、2の方の介護予防・日常生活支援総合事業についてモデル実施の2014年4月時点で訪問介護の利用が30.9%だったのが2017年3月16.2%、率で半減しています。通所介護は、約30%台と率ではほぼ横ばい。必要な介護サービスがきちんと提供されていたのか、検証を求めました。第7期高齢者プランで、高齢者のみ

地域ぐるみ大運動会に約800人が参加 今日的な老人クラブの役割とあり方は…

9月20日、昨年台風で中止になった地域ぐるみ大運動会(荒川区高年者クラブ連合会主催)の開会式に出席。主催者の話では、参加者は約800人だそうです。

先日、高年者クラブ連合会役員の方々と懇談する機会がありました。都内で老人クラブが運動会をおこなっているのは荒川区だけだそう。しかし会員数の減少や会員の要求など生かした活動の模索などの悩み、ご苦労も多いようです。特に会社を退職された方が老人クラブだけでなく地域に溶け込むことの難しさも語っておら



☆プログラム一番のパン食い競争準備中



れました。要求や趣味も違って、従来の老人クラブの活動だけでは、入会していただけないのも事実です。老人クラブの今日的役割について、改めて考える時だと感じました。いずれにしても元気な高齢者への支援と、孤立した高齢者をつくらない、支援の必要な方に手を差し伸べる…政治の役割も問われています。(横山幸次)

裏面 敬老の日の話題、三河島北再開発など…

定例法律相談会

10月2日(月)
午後6時～8時
横山区議事務所

弁護士と横山区議が相談をお受けします。秘密は厳守します。お急ぎの場合は、北千住法律事務所の相談日などご紹介します。

生活相談は、随時受付しています。

TEL&FAX 3895-0504

不在時は、留守電へ、後で連絡します。

区役所控室 3802-4627

敬老の日 荒川区で長寿慶祝の会開催 人としての尊厳が保持できる社会に



▽最高齢			
男性	103歳	(南千住)	
女性	106歳	(南千住、西日暮里)	

18日の敬老の日、長寿慶祝の会がサンパール大ホールで4回に分け開かれました。また各地域のふれあい館でも同様の会が開かれました。町屋1〜8丁目、川流の祝い舞が行われました。式典の主催者、来賓あいさつでは、長寿を喜び「住み慣れた地域、自宅で済み続ける」ことの大切さがこもこも語られました。当然ことです。しかし現実はそのようになっているでしょうか。

**100歳以上町屋で12人、区内で全体92人
住み慣れた街で住み続けることができるように…**

区内の75歳以上高齢者（【 】内は100歳以上）※2017年9月1日現在								
	町屋	南千住	荒川	東尾久	西尾久	東日暮里	西日暮里	合計
男性	1473【1】	1595【2】	1595【0】	1291【0】	1310【2】	1094【1】	834【2】	9561【8】
女性	2383【11】	2497【27】	2497【8】	2169【10】	2171【9】	1845【11】	1418【8】	15379【84】
総数	3856【12】	4860【29】	4092【8】	3460【10】	3481【11】	2939【12】	2252【10】	24940【92】
65歳以上	7,587	9,805	8,299	6,692	7,011	6,108	4,619	50,121

高齢者について…憲法、老人福祉法、区宣言は

☆憲法 第25条 すべての国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する

2 国は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない

☆老人福祉法（基本的理念）第2条 老人は、多年にわたり社会の進展に寄与してきた者として、かつ、豊富な知識と経験を有する者として敬愛されるとともに、生きがいを持てる健全で安らかな生活を保障されるものとする。

☆荒川区高齢者福祉都市宣言（前文省略）

- 一 高齢者を敬い、すべての人びとが社会の一員として重んじられ、人として尊重されるまちをつくります
- 一 自立した生活のいとなみをとおして、生涯にわたり健康で幸せに暮らせるまちをつくります
- 一 住み慣れた地域のなかに、ふれあいと支えあいの輪をひろげ、安心して暮らせるまちをつくります（以下省略）



現在、高齢者が、区内の介護施設や高齢者向け住宅に入れず、遠隔地の施設などに移った方が1000人を超え、生活保護受給者は8割が区外です。原因は、介護施設の不足、在宅介護も十分受けられない結果です。意に反して区外転出を強いられる事態は、「尊厳の保持」の侵害にもあたるのではないのでしょうか。荒川区の75歳以上の方は24,940人（9月1日現在）です。7期高齢者プランで在宅介護の充実、介護施設や高齢者向け住宅などの整備計画策定とその実施を強く求めていきます。

三河島駅北地区再開発計画のいま

JR三河島駅北側の再開発計画では、再開発準備組合の総会が開かれ、これまでの清水建設の他に大手不動産3社（三井不動産、野村不動産、三菱地所）が新たな事業協力者となる覚書が締結されました。

事業化はこれからです。しかし旧真土小学校跡地を所有する荒川区が最大の地権者だけに、西日暮里駅前再開発同様、区民の貴重な財産が区民生活に役立つような活用がなされるのか問われます。

これまで同様、多額の税金も投入して超高層マンションと商業施設などの開発を行うとすると、防災性は向上しますが、保育園、教室の需要増大や地域活性化に役立ったか？など問われます。地権者の準備組合加盟率は、約7割ですが、さら



に、隣接街区を対象にする動きもあります。いずれにしても住民合意も不可欠であり、今後の取り組みを注視したいと思います。

今週のデータ 75歳以上ドライバーの交通事故減少 免許返納とともに公共交通機関整備を

交通死亡事故のうち75歳以上ドライバーの占める割合が、昨年（17年）から12・8%減少しました。免許証自主返納による効果が大いそうです。減ったと言っても問題は根深いものがあります。「国鉄民営化」はじめ、公共交通機関が、小、おまけに郊外型大規模店進出で身近な場所の商店がなくなると、車がないと生きていきな

75歳以上の高齢ドライバーによる死亡事故は高水準が続く（警察庁まとめ）



事故の減少がもちろん悪いことではないのですが、移動の自由が確保できないと「年寄りには外に出るな」となってしまいます。きめ細かな公共交通の充実が、どうしても必要です。